

日本労働年鑑 第58集 1988年版
The Labour Year Book of Japan 1988

第四部 労働組合と政治・社会運動

III 政党の動向

6 日本共産党

6 国際活動

代表団の海外派遣と外国党代表団の来日

二月三～一六日には、ハンガリーとルーマニアへ(団長＝立木洋国際委員会責任者)、四月一五～二五日にもルーマニアへ(立木洋国際委員会責任者ら三人)、八月一三～二八日にはソ連へ(団長＝宇野三郎常任幹部会委員)、九月二五日～一〇月九日にはドイツ民主共和国とルーマニア(団長＝立木洋国際委員会責任者)へ、それぞれ共産党の代表団が派遣された。

このほか、三月六～一四日には二六年ぶりに赤旗代表団(団長＝吉岡吉典赤旗編集局長)が、九月二一日～一〇月四日にはペレストロイカ(改革)視察訪ソ代表団(団長＝聴濤弘政治外交委員会責任者)がそれぞれソ連を訪問し、一一月一～九日にも一〇月革命七〇周年記念式典参加のための代表団(団長＝金子満広書記局長)が訪ソした。

また、外国党代表団としては、三月一二～一七日、モンゴル革命党代表団(団長＝ツェレンダシン・ナムスライ政治局員)四人が、五月一八～二四日、サハラ・アラブ民主共和国のポリサリオ戦線代表団(団長＝マハフード・アリ・ベイバ執行委員会委員・国際委員会責任者)が来日した。

【参考資料】〈日本社会党関係〉(1)日本社会党中央本部機関紙局『社会新報』、(2)同『月刊社会党』、(3)日本社会党政策審議会『政策資料』、(4)『日本社会党第五三回定期全国大会報告集』。

〈公明党関係〉(1)公明党機関紙局『公明新聞』、(2)同『公明』。

〈民社党関係〉(1)民社党本部『週刊民社』、(2)同『kakushin』、(3)民社党政策審議会『政策と討論』、(4)民主社会主義研究会議『改革者』、(5)『民社党第三二回定期全国大会』報告・資料。

〈共産党関係〉(1)日本共産党中央委員会『赤旗』、(2)同『理論政策』、(3)同『前衛』。

以上のほか、『第七七回総評定期大会各局報告書』、『同盟第二四回臨時全国大会報告書』、『全労協第六回(移行)総会報告・議案書』、『朝日新聞』、『読売新聞』、『日本経済新聞』などを利用した。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

****年**月**日公開開始

